

平均律 クラヴィーア曲集

～ピアノで解き明かす バッハの秘密～
第2巻（その2）

講 師 ◆ 山田 剛史

2021/11/13(土) 15:00 ~17:30

受講料 ◆ 3,050円 定 員 ◆ 50名 会 場 ◆ 学園創立50周年記念館ホール

内 容 ◆ すべての長調と短調を使って作曲され、古くから「音楽の旧約聖書」「日々の糧」などと称えられてきた、バッハの《平均律クラヴィーア曲集》全2巻。偉大な作品であることに間違いはありませんが、演奏する側としても、聴く側としても、その全貌をとらえるのは簡単な事ではありません。この講座では、講師による実際のピアノ演奏を交えながら、《平均律クラヴィーア曲集》各曲の性格や背景、大事な要素などについて、バッハのカンタータや受難曲、オルガン曲なども例にとりながら、歴史的な視点かつ幅広い視野からお話をていきます。第1巻の24曲については、全3回の講座に分けて既に講義を終えました。作曲年代が多岐にわたり、音楽の内容もより豊かな第2巻については、4回の講座に分け、各回6曲ずつの前奏曲とフーガを取り上げ、じっくりと音楽の内容を紐解いていきます。今回は、第2巻の第7番（変ホ長調）から第12番（ヘ短調）までを取り上げます。

持参物 ◆ ※簡単な資料を当日配布します。ご興味があれば是非楽譜なども、ご自由にお持ちください。

講 師
紹 介
やまだ たかし
山田 剛史

ピアニスト
国立音楽大学非常勤講師
東京学芸大学非常勤講師

東京藝術大学大学院修士課程修了、クロイツァー賞受賞。ローム ミュージック ファンデーションの奨学生としてケルン音楽大学に留学、国家演奏家試験に合格。クラウディオ・ソアレス、迫昭嘉、ニーナ・ティシュマン、アントニー・シビリの各氏に師事。また歴史的奏法に興味を持ち、オルガンをジャン=フィリップ・メルカールト氏に、フォルテピアノを川口成彦氏に師事。2002年第1回名古屋国際音楽コンクール、2007年第5回東京音楽コンクールにて第1位受賞。ソリストとして東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団等と共に演。NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」出演。とりわけバッハと近現代作品に親しみを持つ。イギリス組曲（全6曲）やゴルトベルク変奏曲など、バッハの作品によるリサイタルを行うほか、「音の遊び」「音の万華鏡」と題した、バロックから現代までのさまざまな作品をテーマに沿って組み合わせたりサイタルが好評を博している。室内楽・歌曲伴奏にも定評があり、東京オペラシティ『B→C』、東京・春・音楽祭等に出演。

後援  一般社団法人全日本ピアノ指導者協会（ピティナ）



©Masaaki Hiraga

♪ 上記以外にも楽しい講座を沢山ご用意しております。お気軽にお問合せ下さい。 ♪

お問い合わせ
お申込み先

東邦音楽大学エクステンションセンター